

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 病理部では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

放射線・化学療法後の癌細胞生存機構の解析

【研究責任者】

自治医科大学 病理学講座 人体病理学部門 講師 河田 浩敏

【研究の対象となる方】

2005年1月から2016年12月までに自治医科大学附属さいたま医療センターにて、放射線療法あるいは化学療法を実施後に切除術を行った乳癌または大腸癌の患者さんを対象とします。大腸癌については、比較対照として未治療で切除された大腸癌の患者さんの一部も対象となります。

【研究の目的】

放射線・化学療法に抵抗して生存する癌細胞において、その生存に重要な分子を同定することを目的とします。近年、様々な治療薬が開発されているものの、治療後に起こる悪性度を増した癌の再発が、治療成績の改善を阻んでいます。治療に抵抗する癌細胞の生存機構を解明することにより、治療後の癌細胞の生存を抑制するあるいは再発を遅らせるような治療法の開発を目指します。

【研究の方法】

放射線療法後あるいは化学療法後に切除された手術検体において癌細胞の残存が認められた検体で、病理診断後のホルマリン固定後パラフィン包埋ブロックを用いて、特定分子に特異的に反応する抗体を用いた免疫染色を行います。放射線・化学療法前に実施された生検検体と治療後に切除された手術検体との比較解析、あるいは放射線・化学療法後に切除された手術検体と未治療で切除された手術検体との比較解析を実施します。

【研究期間】

2020年3月まで

【研究に利用する情報】

患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。

臨床情報として、年齢、性別(女性の場合は閉経の有無)、臨床病期、術前の腫瘍径、術前療法の内容(方法,用量,期間)、治療効果判定を収集します。また、病理診断情報として、組織型、脈管侵襲、リンパ節転移の有無、治療効果、免疫染色結果を収集します。

患者さんが解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできませんので、ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。

【個人情報の取り扱い】

診療録データおよび染色標本は研究責任者が連結不可能匿名化(どのデータが誰のものか誰もわからないように記号化し、それをもう一度照合することができないようにすること)したうえで、研究に使用します。個人情報は秘匿されます。データは、研究責任者が人体病理学部門においてパスワードを設定したファイルに記録し、アクセス管理された HDD 上に保存します。染色標本は施錠できる標本棚に保管します。研究成果は、個人を特定できない状態で学会発表や論文などで報告します。

お問い合わせ先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
自治医科大学 病理学講座 人体病理学部門
電話：0285-58-7237
研究担当者：河田 浩敏

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課
電話：048-648-5225